【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【公表番号】特表2004-517754(P2004-517754A)
【公表日】平成16年6月17日(2004.6.17)
【年通号数】公開・登録公報2004-023
【出願番号】特願2002-556263(P2002-556263)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ２９Ｃ　43/02
　Ｂ２９Ｃ　41/12
　Ｇ０２Ｂ　 5/30
// Ｂ２９Ｌ　 7:00
【ＦＩ】
　Ｂ２９Ｃ　43/02
　Ｂ２９Ｃ　41/12
　Ｇ０２Ｂ　 5/30
　Ｂ２９Ｌ　 7:00

【手続補正書】
【提出日】平成15年7月18日(2003.7.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの基材上で有機材料および／または無機材料からなる液晶溶液から異方性フィルムを製造する装置であって、
前記液晶溶液を供給するための手段と、
溶液および／または溶液の分子および／または超分子錯体に外部の整列影響を与えるための手段と、
基材上へ溶液をつけるための溶液方向付け要素と、
前記基材と、前記溶液方向付け要素との間で相対移動を行わせるための手段と、
を含むことを特徴とする装置。
【請求項２】
溶液方向付け要素が、平坦なプレートとして実装され、基材の平面に対して０度～９０度の角度で取り付けてあることを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項３】
溶液方向付け要素が、円筒状表面を含むプレートとして実装されていることを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項４】
相対移動の方向に対して直角な方向において、プレートの寸法が、形成されたフィルムの幅の寸法より大きいことを特徴とする請求項２または３に記載の装置。
【請求項５】
少なくともプレートの一部が、親水性または疎水性であることを特徴とする請求項２または３に記載の装置。
【請求項６】
少なくともプレート表面の一部が、逃げを有することを特徴とする請求項２または３に記

載の装置。
【請求項７】
プレートが、高分子材料で作られることを特徴とする請求項２または３に記載の装置。
【請求項８】
プレートが、ゴムで作られることを特徴とする請求項２または３に記載の装置。
【請求項９】
プレートが、２つの異なった材料で作ってあることを特徴とする請求項２または３に記載の装置。
【請求項１０】
整列手段が、円筒状ロッド、ローラおよびドクターブレードからなるグループから選択した要素を含むことを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項１１】
整列手段が、さらに、第２のプレートを含み、基材に対する第２のプレートの移動中に、第２のプレートの表面の少なくとも一部が、整列手段の直後で基材表面に沿って自由に並進移動するように第２のプレートの一端が固定してあることを特徴とする請求項１０に記載の装置。
【請求項１２】
整列手段が、表面逃げを含むことを特徴とする請求項１０に記載の装置。
【請求項１３】
さらに、フィルムから溶媒を除去するための手段を含むことを特徴とする請求項１または２に記載の装置。
【請求項１４】
フィルムから溶媒を除去するための手段が、加熱要素、ブロワーおよび輻射ユニットからなるグループから選択された要素を含み、そして、少なくとも基材表面の一部を処理するように取付けられることを特徴とする請求項１３に記載の装置。
【請求項１５】
供給手段が、インジェクタ、送りローラセット、溶液供給量を計る計量器を備えるロットからなるグループから選択された要素を含むことを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項１６】
さらに、一定の状態を与えるための手段を含むことを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項１７】
さらに、振動防止手段を含むことを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項１８】
有機材料および／または無機材料の液晶溶液から基材上に異方性フィルムを製造する方法であって、
溶液方向付け要素の表面上に液晶溶液を供給する段階と、
基材の表面上に溶液方向付け要素の表面に沿って溶液を流れさせる段階と、
溶液方向付け要素に対して基材を並進移動させる段階と、
基材が並進移動されているときに、整列手段によって基材上の溶液に外部の整列影響を与える段階と、
を含むことを特徴とする方法。
【請求項１９】
さらに、フィルムを乾燥させる段階を含むことを特徴とする請求項１７の方法。
【請求項２０】
溶液が基材上に層状に流れるような、基材および配向要素からの距離のところに溶液方向付け要素を配置することを特徴とする請求項１８または１９に記載の方法。